



【 要旨 】

逆水門開放の強い要望の声が、漁業関係者などから上がっています。なのになぜ逆水門は閉められたままなのでしょう。

海水逆流が及ぼす農業地帯への塩害が心配だったからです。しかし、塩害の心配のない簡単な方法で、逆水門は開けられます。

農家は塩害の不安を解消、企業はコストを軽減、地域を活性化。

逆水門付近の、塩分を含む水の取水をやめて数メートルしか離れていない、地下の農業用と工業用のパイプをつなぎ、余剰の工業用水を農業用に転用すれば良いのです。

- ・魚道の設置よりも低コストで簡便です。
- ・もちろん法律的な問題はありません。

逆水門をあければ地域経済が活性化。とる漁業の復活で、水質も浄化できます。

漁獲量が増加し、漁業の振興が期待できます。

漁獲量が増えれば魚に含まれるリンや窒素を、それだけ多く湖から取り除くことができます。

ヘドロの浚渫（しゅんせつ）よりも低コストで水質浄化ができます。

逆水門を開けることは可能です。

みんなが賛同できる方法を具体的に説明します。

パンフレットをご希望の方は事務局までお問い合わせください。

TEL : 029-871-7166 / E-Mail : asaza@jcom.home.ne.jp